

目次

注意事項

安全上のご注意

ご使用上の注意

お手入れについて

本製品で使用している電池について

金属バンドの駒詰めについて

はじめに

各部の名称

文字板と画面の表示

モードを切り替える

時刻モードの表示を切り替える

充電する

暗い所で時計を見る

時刻合わせについて

時刻を合わせる

ワールドタイム

ワールドタイムを確認する

ワールドタイム都市を設定する

ホーム都市の時刻とワールドタイムの時刻を入れ替える

アラーム

アラームをセットする

時報をセットする

アラームや時報を解除する

ストップウォッチ

計測する

スプリットタイムを計測する

1・2 着を同時に計測する

タイマー

時間を設定する

タイマーを使う

針の補正

針の位置を補正する

その他の設定

ボタンの操作音を設定する

パワーセービング機能を設定する

補足

都市一覧

仕様一覧

困ったときは

注意事項

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

危険	死亡または重傷を負う可能性が大きい内容を示しています。
警告	死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
注意	軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

絵表示の例



分解禁止

○記号は「してはいけないこと」を意味しています(左の例は分解禁止)。



▲記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。



●記号は「しなければならないこと」を意味しています。

危険

●二次電池について



本機から二次電池を取り出さない。発熱、破裂、発火の恐れがあります。やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤って飲み込むことがないように注意してください。特に小さなお子様にご注意ください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。電池を飲み込むと、短時間で化学やけどや粘膜組織の貫通などを引き起こし、死亡事故の原因になります。



二次電池の交換は、必ず、「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店に依頼する。

指定外の電池を使用したり、電池の交換を誤ったりすると、発熱、破裂、発火の恐れがあります。

警告

●スクーバダイビングに使用しない



本機をスクーバダイビングに使用しない。

本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

●分解・改造しない



分解禁止

本機を分解・改造しない。

けがの原因となります。

注意

●お手入れについて



ケース・バンドは常に清潔にして使う。

ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。特に、海水に浸した後、放置するとさびやすくなります。

●かぶれについて



時計の本体およびバンドは、直接肌に接触しています。使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

1. 金属・皮革に対するアレルギー
2. 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗など
3. 体調不良など

バンドは余裕を持たせて使用する。

きつくしめると、汗をかきやすく、空気の通りが悪くなり、かぶれを起こす恐れがあります。

「抗菌防臭バンド」は細菌の繁殖とにおいの発生を抑えます。皮膚のかぶれを防ぐものではありません。

かぶれなど、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。



ときどき時計を外して手首を休ませる。

お客様のご使用いただく環境(長時間の装着や汗をかいた場合など)によっては、皮膚(肌)に負担がかかる場合があります。皮膚障害を防ぐため定期的に製品の装着をやめ、皮膚(肌)を休ませてください。

●ご使用にあたって



時計の表示は、安全な場所で確認する。

思わぬ転倒や、けが、事故の原因となることがあります。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車などの運転中にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にもご注意ください。



時計の着脱に注意する。

バンドの中留で爪を傷つける恐れがあります。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。



小さなお子様と接するときは、時計を外す。

お子様のけがやアレルギーによるかぶれの原因となることがあります。



時計本体(裏ぶたを含む)やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがす。

シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

ご使用上の注意

●防水性

- 防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

日常生活用防水

時計の表面または裏ぶたに表記	「BAR」表記無し
----------------	-----------

使用例

洗顔、雨	○
水仕事、水泳	×
ウインドサーフィン	×
スキンドайビング(素潜り)	×

日常生活用強化防水

5 気圧防水

時計の表面または裏ぶたに表記	5BAR
----------------	------

使用例

洗顔、雨	○
水仕事、水泳	○
ウインドサーフィン	×
スキンドайビング(素潜り)	×

10 気圧防水

時計の表面または裏ぶたに表記	10BAR
----------------	-------

使用例

洗顔、雨	○
水仕事、水泳	○
ウインドサーフィン	○
スキンドайビング(素潜り)	○

20 気圧防水

時計の表面または裏ぶたに表記	20BAR
----------------	-------

使用例

洗顔、雨	○
水仕事、水泳	○
ウインドサーフィン	○
スキンドайビング(素潜り)	○

- 専門的な潜水=スクーバダイビング(空気ボンベ使用)でのご使用はお避けください。

- 時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

- 防水構造の機種でも、以下のご使用はお避けください。
防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。

- 「水中で」および「時計に水分がついた状態で」リゅうずやボタンを操作すること
- 入浴のときに使用すること
- 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること
- 時計を手につけたまま手洗い/洗顔/家事などをするとき、石鹸や洗剤を使うこと

- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。

- 防水性を保つために定期的(2~3年を目安)なパッキン交換をおすすめします。

- 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ず「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください(特殊な工具を必要とします)。

- 防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがありますが、皮革バンド付の状態、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。

夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなることがあります。

なお、曇りが消えなかったり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理を「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

●バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

- バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。

- バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理(有償)や新しいバンドとの交換を、「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

●温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。

- +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+40℃以上では、表示が見えにくくなる場合があります。

●ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。

ただし、耐衝撃構造の時計の場合(G-SHOCK/BABY-G/G-MS)は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ(モトクロスなど)でのショックを受けても時計には影響ありません。

●磁気

- アナログ時計やコンビネーション(アナログとデジタル)時計は、針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを駆動させる方式を採用していますが、このモーターは強い磁気(オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など)を発生する器具に近づけるとモーターの回転に影響を受け、針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因となります。

- 極度に強い磁気(医療機器など)は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

●静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

●薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含むクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

●保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

●樹脂部品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光(紫外線)に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況(過度の外力、連続したこすれ、衝撃等)により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。
- スケルトン(透明)仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

●皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたままにしないでください。
 - 長時間、直射日光(紫外線)に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
- ご注意:**
皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

●金属部品について

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも濡れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
- ときどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

●抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

●液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなる場合があります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

●お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- りゅうずやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、りゅうずや回転ベゼルの回したり、ボタンを押したりしてください。

●お手入れを怠ると

〈さび〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
 - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分が鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理(有償)を「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

本製品で使用している電池について

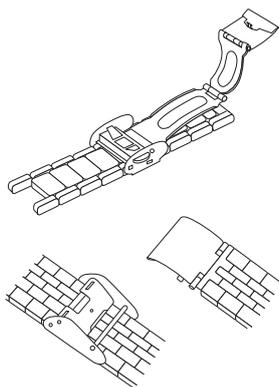
- 専用の二次電池を使用しておりますので、お客様は電池を取り外さないでください。専用の二次電池以外の電池を入れると時計の破損の原因になります。
- 二次電池は、ソーラーパネルが受ける光により充電されますので、一次電池のような定期的な電池交換の必要はありません。ただし、二次電池は長期的なご使用や使用環境により容量や充電効率が低下しますので、充電しても「使用できる時間が短くなった」と感じたときは、「修理に関するお問合せ先」（「はじめにお読みください」を参照）またはお買い上げの販売店にご相談ください。ご希望により保証期間経過後は有料で充電点検調整いたします。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド（フリータイプの中留構造バンド*を除く）の駒詰めには専用の工具が必要となります。お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。なお、「修理お申込み先」（「はじめにお読みください」を参照）においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。詳しくは、「修理に関するお問合せ先」（「はじめにお読みください」を参照）へお問い合わせください。

* 中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

（例）



はじめに

時計の概要と、便利な使い方を紹介します。

●本製品の特長

●ソーラー充電

太陽や照明の光によって発電し、電気エネルギーを充電しながら動きます。

●ワールドタイム

世界 48 都市の時刻を表示できます。

●アラーム

設定した時刻になると、アラーム音を鳴らしてお知らせします。

●ストップウォッチ

1/100 秒単位で 60 分まで計測できます。

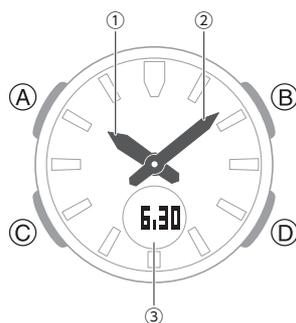
●タイマー

設定時間をカウントダウン計測し、残り時間が 0 になるとタイムアップ音を鳴らしてお知らせします。

参考

- この操作ガイドに記載しているイラストは、視認性を考慮して実際のものとは異なる描写をしているものがあります。ご了承ください。

各部の名称



- ① 時針
- ② 分針
- ③ 液晶画面

A ボタン

時刻モード表示中に押すと、画面の表示切り替えができます。

B ボタン

押すと、ライトが点灯します。

各設定画面を表示中に押すと、設定を変更できます。

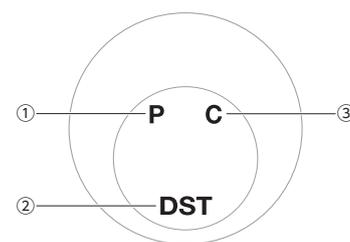
C ボタン

押すごとに、モード(機能)が切り替わります。

D ボタン

各設定画面を表示中に押すと、設定を変更できます。

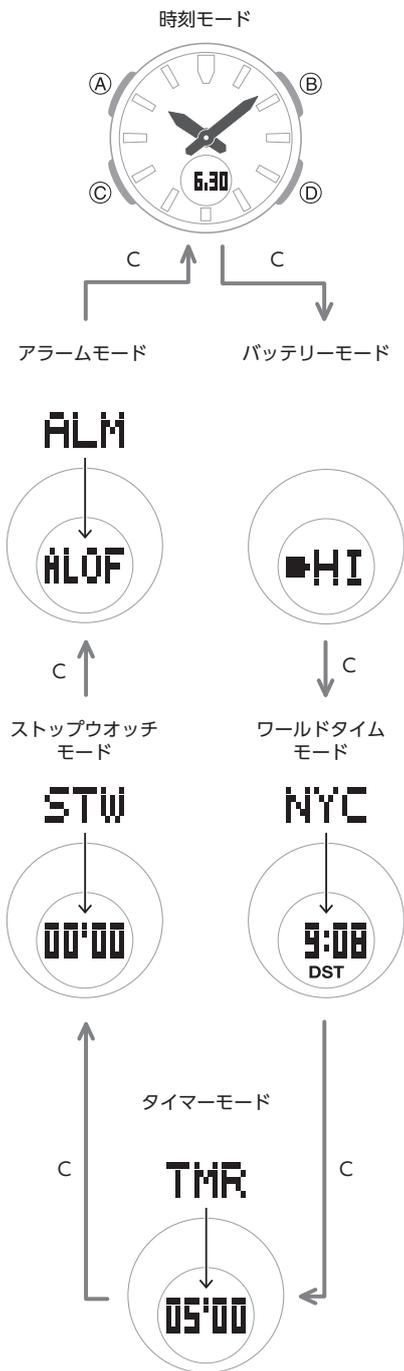
文字板と画面の表示



- ① [P]
12 時間制表示で午後のときに点灯します。
- ② [DST]
サマータイムのときに点灯します。
- ③ [C]
充電不足のときに点滅します。

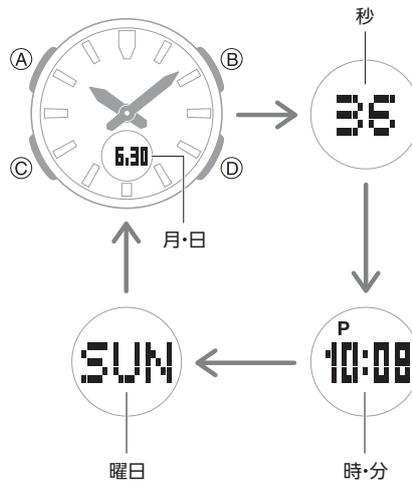
モードを切り替える

C ボタンを押すごとに、時計のモードが切り替わります。



時刻モードの表示を切り替える

時刻モードのときに A ボタンを押すごとに、画面の表示が以下のように切り替わります。



充電する

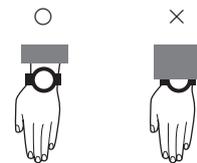
この時計は、ソーラーパネルで発電した電気をバッテリー(二次電池)に充電しながら動作します。ソーラーパネルは文字板と一体になっており、文字板に光が当たっているときは常に発電し充電しています。

●充電する

時計を腕から外しているときは、光が当たる明るい場所に置いて充電してください。



腕につけているときは、文字板(ソーラーパネル)に衣類の袖がかからないように心がけてください。文字板(ソーラーパネル)が一部でも隠れていると発電効率が低下します。



重要

- 充電の際、光源の条件や環境によっては時計本体が非常に高温になり、火傷を負ったり、時計内部の部品が破損する原因となります。以下のような 60°C 以上になる可能性がある場所での充電は避けてください。
 - 炎天下に駐車している車のダッシュボードの上
 - 白熱灯、撮影用ライト、ハロゲンランプなどの発熱体に近い所
 - 直射日光が長時間当たり高温になる所

●充電量を確認する

1. バッテリーモードにします。

☉ モードを切り替える

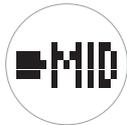
充電レベル 1:良好

すべての機能を使えます。



充電レベル 2:良好

すべての機能を使えます。



充電レベル 3:充電不足

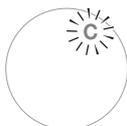
[LO]が点灯し、以下の機能が使えなくなります。

- ライト点灯
- 音(アラームなど)
- 時刻モード以外の機能



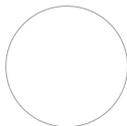
充電レベル 4:充電不足

レベル 3 よりも充電量が減ると [C] が点滅し、すべての機能が使えなくなります。また、すべての針が 12 時位置で停止します。



充電レベル 5:充電切れ

すべての針が停止して、液晶画面の表示が消灯します。また、データがすべて消去され、設定がお買い上げ時の状態に戻ります。



重要

- 充電不足や充電切れになったときは、文字板(ソーラーパネル)に光を当てて速やかに充電してください。

参考

- 充電不足は、時刻モードで表示します。
- [R] が点滅しているときは、一時的な電池消耗により、すべての機能が使用できなくなります。
☉ [R] が点滅している

●充電時間の目安

充電時間の目安として、下の表をご活用ください。

1日、使用するために必要な充電時間

光量(ルクス)	充電時間
50,000	8分
10,000	30分
5,000	48分
500	8時間

充電量の回復に必要な時間

- 晴れた日の屋外など(50,000ルクス)

充電切れ → 充電量:中	4時間
充電量:中 → 充電量:高	38時間
充電量:高 → 満充電	10時間

- 晴れた日の窓際など(10,000ルクス)

充電切れ → 充電量:中	11時間
充電量:中 → 充電量:高	142時間
充電量:高 → 満充電	38時間

- 曇りの日の窓際など(5,000ルクス)

充電切れ → 充電量:中	17時間
充電量:中 → 充電量:高	230時間
充電量:高 → 満充電	62時間

- 蛍光灯下の室内など(500ルクス)

充電切れ → 充電量:中	218時間
充電量:中 → 充電量:高	—
充電量:高 → 満充電	—

参考

- 実際の充電時間は、環境や時計の設定などによって異なります。

●節電(パワーセービング機能)

午後 10 時から午前 6 時の間に、時計を暗い場所に約 1 時間置いておくと画面の表示が消えて、レベル 1 の節電状態になります。この状態が 6~7 日続くと、レベル 2 の節電状態になります。

節電レベル 1:

画面表示を消して節電します。

節電レベル 2:

すべての針が停止して、画面表示を消して節電します。すべての機能を使用できません。

節電状態を解除する

以下の方法で、節電状態を解除します。

- いずれかのボタンを押す
- 時計を明るい場所に置く

参考

- 時計が以下のときは、節電状態になりません。
 - ストップウォッチモード
 - タイマーモード
- パワーセービング機能のオン/オフを切り替えることができます。
☉ [パワーセービング機能を設定する](#)
- 時計を装着している場合でも、ソーラーパネルが袖などに隠れていると節電状態になることがあります。

暗い所で時計を見る

暗い所で時計の表示を見るときに、ライトを点灯させて画面を明るくできます。

●ライトを点灯する

B ボタンを押すと、ライトが点灯します。



- ライト点灯中にアラーム音が鳴ると、消灯します。

時刻合わせについて

日付や時刻を合わせます。



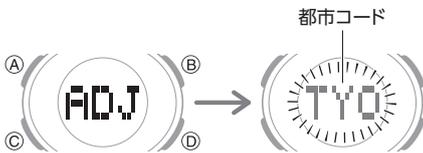
時刻を合わせる

日付、時刻、ホーム都市を合わせます。

●ホーム都市を設定する

この時計を使用する都市を設定します。サマータイムを実施している地域の場合は、サマータイムを設定できます。

- 時刻モードにします。
🔗 [モードを切り替える](#)
- A ボタンを 2 秒以上押し続け、[ADJ] が表示されたら指を離します。
指を離すと、都市コードが表示されます。



- B または D ボタンを押して、ホーム都市を変更します。
 - B または D ボタンを押し続けると、早送りできます。
 - ホーム都市については、下記をご覧ください。
🔗 [都市一覧](#)
- C ボタンを押します。
- D ボタンを押して、サマータイムの設定を変更します。
 - [OFF]
常にスタンダードタイムで表示します。
 - [ON]
常にサマータイムで表示します。



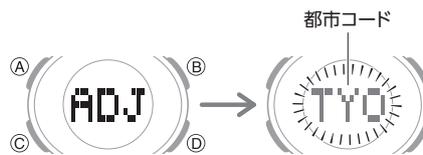
- A ボタンを押して、設定を終了します。

参考

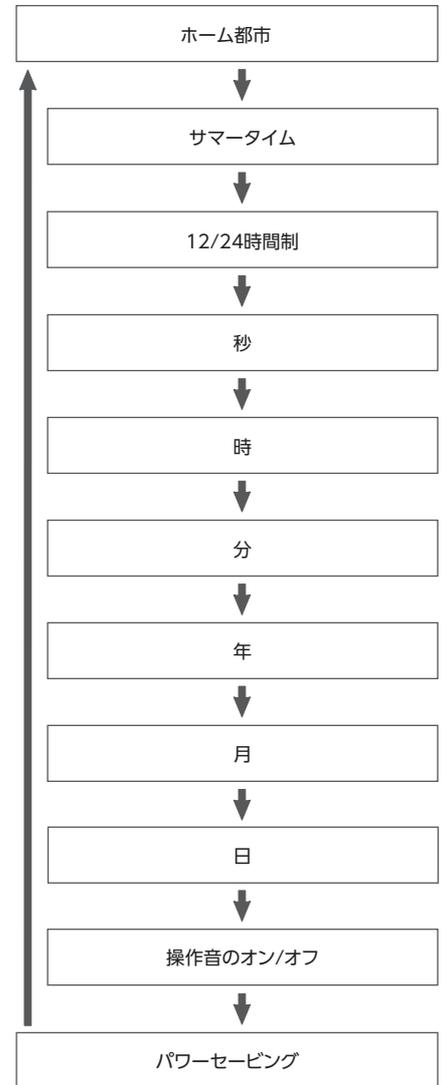
- 設定しているとき (デジタル表示部が点滅中) に何も操作せず 2~3 分間経過すると、セット状態が解除されます。

●日時を設定する

- 時刻モードにします。
🔗 [モードを切り替える](#)
- A ボタンを 2 秒以上押し続け、[ADJ] が表示されたら指を離します。
指を離すと、都市コードが表示されます。



- C ボタンを押して、変更したい値を点滅させます。
 - C ボタンを押すごとに、以下の順番で点滅する値が切り替わります。



- 日時を変更します。
 - [秒]を設定する場合: D ボタンを押すと 00 秒にリセットされます。30~59 秒のときは、1 分繰り上がります。
 - それ以外の値を設定する場合: B または D ボタンで値を変更します。
B または D ボタンを押し続けると、早送りできます。

- 手順 3、4 を繰り返して、日時を設定します。
- A ボタンを押して、設定を終了します。

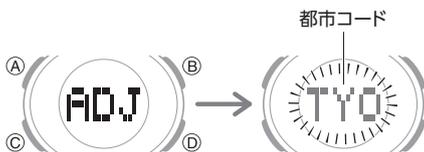
参考

- 設定しているとき(デジタル表示部が点滅中)に何も操作せず 2~3 分間経過すると、セット状態が解除されます。

●12 時間制/24 時間制を切り替える

時刻の表示方法を、12 時間制または 24 時間制に設定できます。

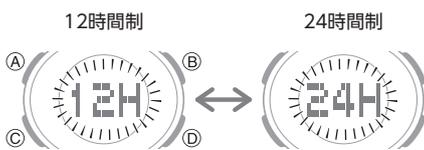
- 時刻モードにします。
○モードを切り替える
- A ボタンを 2 秒以上押し続け、[ADJ] が表示されたら指を離します。
指を離すと、都市コードが表示されます。



- C ボタンを 2 回押します。
[12H] または [24H] が点滅します。



- D ボタンを押して、[12H] (12 時間制) または [24H] (24 時間制) を選びます。



- A ボタンを押して、設定を終了します。

参考

- 設定しているとき(デジタル表示部が点滅中)に何も操作せず 2~3 分間経過すると、セット状態が解除されます。

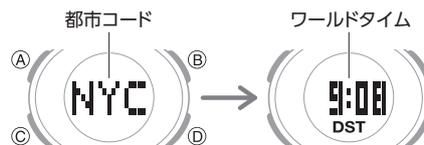
ワールドタイム

世界 48 都市 (31 タイムゾーン) と UTC (協定世界時) の時刻を知ることができます。



ワールドタイムを確認する

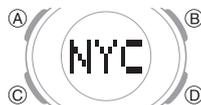
- ワールドタイムモードにします。
○モードを切り替える
現在設定しているワールドタイム都市とその都市の時刻が画面に表示されます。



ワールドタイム都市を設定する

ワールドタイムを表示する都市を設定します。サマータイムを実施している地域の場合は、サマータイムを設定できます。

- ワールドタイムモードにします。
○モードを切り替える
- D ボタンを押して、設定する都市を表示します。
●D ボタンを押し続けると、早送りできます。



- サマータイムの設定を変更する場合は、A ボタンを 2 秒以上押し続けます。
●A ボタンを 2 秒以上押し続けるごとにスタンダードタイムとサマータイムが切り替わります。
●表示時刻がサマータイムのときは、[DST] が点灯します。

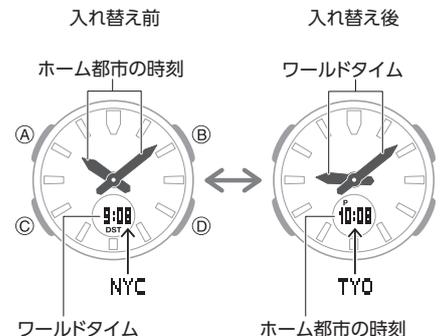


参考

- 設定しているとき(デジタル表示部が点滅中)に何も操作せず 2~3 分間経過すると、セット状態が解除されます。
- 都市に [UTC] を選んだ場合、サマータイムの設定を確認したり、切り替えたりすることはできません。
- サマータイム設定は、選択している都市に適用します。他の都市には影響しません。

ホーム都市の時刻とワールドタイムの時刻を入れ替える

ワールドタイムモードで A ボタンと B ボタンを同時に押すと、ホーム都市の時刻とワールドタイムの時刻が入れ替わります。



アラーム

指定した時刻に音でお知らせします。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

- 以下のときは音が鳴りません。
 - 充電不足のとき
 - 節電状態レベル2のとき
 - 節電(パワーセービング機能)



アラームをセットする

●アラームをオンにする

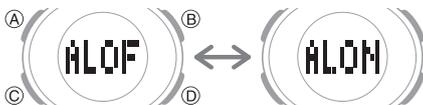
1. アラームモードにします。
○モードを切り替える
2. D ボタンを押して、アラームの設定画面を表示させます。



3. A ボタンを押して、アラームのオンとオフを切り替えます。

[ALOF]:アラームがオフになります。
[ALON]:アラームがオンになります。

アラームオフ アラームオン



●アラーム時刻をセットする

1. アラームモードにします。
○モードを切り替える
2. D ボタンを押して、アラームの設定画面を表示させます。



3. A ボタンを2秒以上押し続け、「時」が点滅したら指を離します。

- 設定しているとき(デジタル表示部が点滅中)に何も操作せず2~3分間経過すると、セット状態が解除されます。



4. B または D ボタンを押して、アラームの「時」を設定します。

- B または D ボタンを押し続けると、早送りできます。
- 12時間制で表示している場合、午後は[P]が表示されます。



5. C ボタンを押します。

「分」が点滅します。



6. B または D ボタンを押して、アラームの「分」を設定します。

7. A ボタンを押して、設定を完了します。

●アラームを止めるには

設定した時刻に音が鳴ったら、いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

参考

- セットした時刻になると、音を10秒間鳴らしてお知らせします。
- アラームモードのとき、何も操作せず2~3分間経過すると自動的に時刻モードに戻ります。

時報をセットする

1. アラームモードにします。
○モードを切り替える
2. D ボタンを押して、時報の設定画面を表示させます。



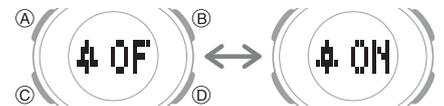
3. A ボタンを押して、時報のオン/オフを切り替えます。

[OF]:時報がオフになります。

[ON]:時報がオンになります。

時報オフ

時報オン



アラームや時報を解除する

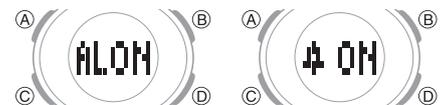
アラームや時報の音が鳴らないようにするには、以下の操作で設定をオフにしてください。

- 再度アラームや時報の音を鳴らすには、アラームや時報の設定をオンにしてください。

1. アラームモードにします。
○モードを切り替える
2. D ボタンを押して、アラームまたは時報の設定画面を表示させます。

アラームオン

時報オン

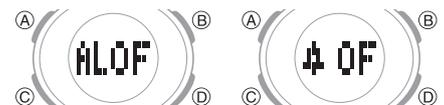


3. A ボタンを押して、アラームまたは時報をオフにします。

- A ボタンを押すごとに、オンとオフが切り替わります。

アラームオフ

時報オフ



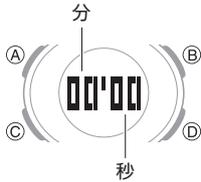
ストップウォッチ

1/100 秒単位で 59 分 59 秒 99 まで計測できます。

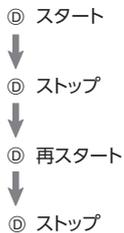


計測する

- ストップウォッチモードにします。
⌚ モードを切り替える



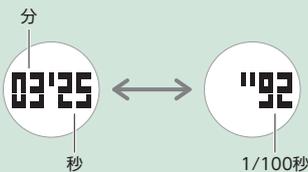
- 以下の操作で計測します。



- A ボタンを押して、計測をリセットします。

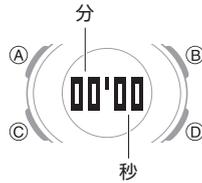
参考

- 計測停止中は、「分・秒」表示と「1/100 秒」表示が 2 秒ごとに切り替わって表示されます。



スプリットタイムを計測する

- ストップウォッチモードにします。
⌚ モードを切り替える



- 以下の操作で計測します。

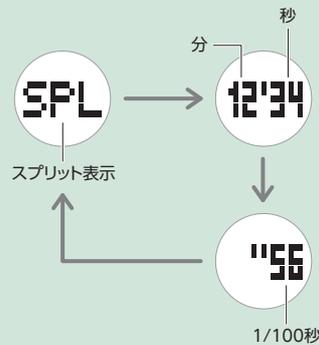
- A ボタンを押すと、その時点までの経過時間(スプリットタイム)が表示されます。



- A ボタンを押して、計測をリセットします。

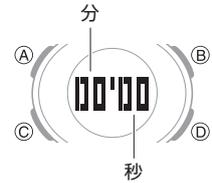
参考

- スプリットタイムを表示中は、スプリット表示と「分・秒」、「1/100 秒」が切り替わって表示されます。

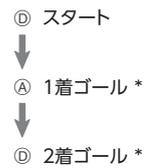


1・2 着を同時に計測する

- ストップウォッチモードにします。
⌚ モードを切り替える



- 以下の操作で計測します。



* 1 着の計測値が表示されます。

- A ボタンを押して、2 着の計測値を表示します。
- A ボタンを押して、計測をリセットします。

タイマー

設定した時間をカウントダウンします。残り時間がゼロになると音でお知らせします。

- 充電不足のときは音が鳴りません。



時間を設定する

タイマーは、1分単位で60分まで設定できます。

- タイマーで計測中の場合は、タイマーをリセットしてください。
○ タイマーを使う

1. タイマーモードにします。
○ モードを切り替える
2. A ボタンを2秒以上押し続け、「分」が点滅したら指を離します。



3. B または D ボタンを押して、タイマーの「分」を設定します。
 - B または D ボタンを押し続けると、早送りできます。
4. A ボタンを押して、設定を終了します。

参考

- 設定しているとき(デジタル表示部が点滅中)に何も操作せず2~3分間経過すると、セット状態が解除されます。

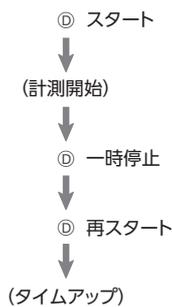
タイマーを使う

タイマーは、1秒単位で計測します。

1. タイマーモードにします。
○ モードを切り替える



2. 以下の操作で計測します。



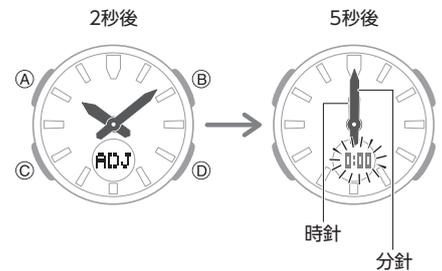
- 残り時間がゼロになると、音を10秒間鳴らしてお知らせします。
 - 一時停止中にAボタンを押すと、タイマーをリセットできます。
3. いずれかのボタンを押して、音を止めます。

針の補正

強い磁気や衝撃を受けると、針の時刻とデジタル表示の時刻が合わなくなることがあります。そのようなときは、針の位置を補正します。

針の位置を補正する

1. 時刻モードにします。
○ モードを切り替える
2. A ボタンを5秒以上押し続け、「H.SET」を表示したら指を離します。
時分針が12時位置に移動し、「0:00」が点滅します。



- 針の位置を補正するとき(デジタル表示部が点滅中)に何も操作せず2~3分間経過すると、自動的に時刻モードに戻ります。
3. 時分針が12時位置になっていないときは、B または D ボタンを押して時分針を12時位置に合わせます。
 - B または D ボタンを押し続けると、針を早送りできます。

参考

- 時分針は連動して動きます。ボタン操作で、分針のみ操作できます。

4. A ボタンを押して、設定を終了します。

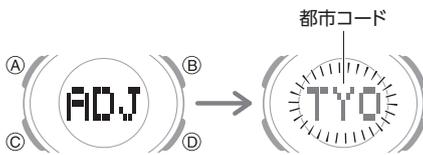
その他の設定

時計の各種設定を変更できます。

ボタンの操作音を設定する

ボタンを押したときに音が鳴る/鳴らないを設定できます。

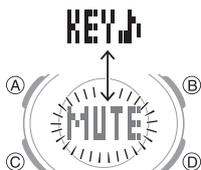
1. 時刻モードにします。
🔄 モードを切り替える
2. A ボタンを 2 秒以上押し続け、[ADJ] が表示されたら指を離します。
指を離すと、都市コードが表示されます。



3. C ボタンを 9 回押します。
[KEY 🗨] または [MUTE] が点滅します。



4. D ボタンを押して、[KEY 🗨] または [MUTE] を選びます。
[KEY 🗨]: 操作音が鳴ります。
[MUTE]: 操作音が鳴りません。



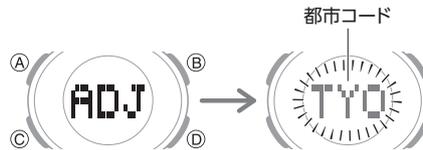
5. A ボタンを押して、設定を終了します。

参考

- 設定しているとき (デジタル表示部が点滅中) に何も操作せず 2~3 分間経過すると、セット状態が解除されます。
- 操作音が鳴らないように設定しても、アラームやタイマーの音は鳴ります。

パワーセービング機能を設定する

1. 時刻モードにします。
🔄 モードを切り替える
2. A ボタンを 2 秒以上押し続け、[ADJ] が表示されたら指を離します。
指を離すと、都市コードが表示されます。



3. C ボタンを 10 回押します。
[PSN] または [PSOF] が点滅します。



4. D ボタンを押して、オンとオフを切り替えます。
[PSN]: パワーセービング機能がオンになります。
[PSOF]: パワーセービング機能がオフになります。

5. A ボタンを押して、設定を終了します。

参考

- 設定しているとき (デジタル表示部が点滅中) に何も操作せず 2~3 分間経過すると、セット状態が解除されます。
- パワーセービング機能については、下記を参照してください。
🔄 節電 (パワーセービング機能)

補足

操作説明以外に必要な情報はここにまとめています。必要に応じてご覧ください。

都市一覧

都市コード	都市名	タイムゾーン
UTC	協定世界時	
LIS	リスボン	0
LON	ロンドン	
MAD	マドリード	
PAR	パリ	
ROM	ローマ	+1
BER	ベルリン	
STO	ストックホルム	
ATH	アテネ	
CAI	カイロ	+2
JRS	エルサレム	
MOW	モスクワ	+3
JED	ジェッダ	
THR	テヘラン	+3.5
DXB	ドバイ	+4
KBL	カブール	+4.5
KHI	カラチ	+5
DEL	デリー	+5.5
KTM	カトマンズ	+5.75
DAC	ダッカ	+6
RGN	ヤンゴン	+6.5
BKK	バンコク	+7
SIN	シンガポール	
HKG	香港	+8
BJS	北京	
TPE	台北	
SEL	ソウル	+9
TYO	東京	
ADL	アデレード	+9.5
GUM	グアム	+10
SYD	シドニー	
NOU	ヌーメア	+11
WLG	ウェリントン	+12
PPG	パゴパゴ	-11
HNL	ホノルル	-10
ANC	アンカレジ	-9
YVR	バンクーバー	-8
LAX	ロサンゼルス	
YEA	エドモントン	-7
DEN	デンバー	
MEX	メキシコシティ	-6
CHI	シカゴ	
NYC	ニューヨーク	-5
SCL	サンティアゴ	
YHZ	ハリファックス	-4

都市コード	都市名	タイムゾーン
YYT	セントジョンズ	-3.5
RIO	リオデジャネイロ	-3
FEN	フェルナンド・デ・ノローニャ	-2
RAI	プライア	-1

- この表は 2023 年 7 月現在のものです。
- 設定する都市コードがわからないときは、使用場所の時差を確認し、時差が一致する都市コードを選択してください。
- 時差は協定世界時 (UTC) を基準にしています。

仕様一覧

精度：

平均月差 ±30 秒

基本機能：

アナログ部
時・分
デジタル部
時・分・秒・月・日・曜日
午前/午後 (P)/24 時間制表示
フルオートカレンダー (2000~2099 年)
サマータイム設定

ワールドタイム機能：

世界 48 都市 (31 タイムゾーン) と協定世界時 (UTC) の時刻を表示
サマータイム設定機能
ホームタイム都市入れ替え機能

タイマー機能：

計測単位 1 秒
計測範囲 60 分
セット単位 1 分
タイムアップを 10 秒間の電子音で報知

ストップウォッチ機能：

計測単位 1/100 秒
計測範囲 59 分 59 秒 99 (60 分計)
計測機能
通常計測、スプリット計測、1・2 着同時計測

アラーム機能：

時刻アラーム
セット単位 時・分
アラーム報音時間 10 秒間
時報 毎正時に電子音で報知

その他：

自動復帰機能、12/24 時間制表示切り替え、LED ライト、パワーセービング機能、充電量の表示、操作音オン/オフ設定

使用電池：

二次電池
持続時間 約 11 か月
使用条件
光に当てないで、以下を使用
アラーム 1 回 (10 秒間)/日
ライト点灯 1 回 (1.5 秒)/日
表示点灯 18 時間/日

改良などのため、仕様は予告なく変更されることがあります。

困ったときは

針の動きと表示

Q1 現在のモードがわからない

現在のモードは、画面の表示で確認できます。モードは C ボタンで切り替えることができます。

🔗 [モードを切り替える](#)



Q2 すべての針が停止し、ボタン操作ができない

充電切れです。充電量が回復するまで光を当ててください。

🔗 [充電量を確認する](#)

Q3 突然、針の動きが速くなった

以下の原因の場合は故障ではありません。通常の動きに戻るまでお待ちください。

- パワーセービング機能が解除され、復帰している。
🔗 [節電 \(パワーセービング機能\)](#)

Q4 針の動きが止まり、ボタン操作ができなくなった

充電回復モードです。回復するまで (約 15 分間) お待ちください。明るい場所に置いて充電すると早く回復します。

Q5 現在時刻の表示が数時間ずれている

都市 (タイムゾーン) の設定が正しくありません。正しく設定してください。

🔗 [ホーム都市を設定する](#)

Q6 現在時刻の表示が 1 時間や 30 分など区切りのよい時間でずれている

サマータイムの設定が正しくありません。正しく設定してください。

🔗 [ホーム都市を設定する](#)

Q7 針の時刻とデジタルの時刻が異なる

強い磁気や衝撃の影響で針の位置にずれが生じることがあります。針のずれを補正してください。

🔗 [針の位置を補正する](#)

ワールドタイム

Q1 設定したワールドタイム都市の時刻がずれている

サマータイム設定(スタンダードタイム/サマータイム)が正しくありません。

🔍 [ワールドタイム都市を設定する](#)

アラーム・時報

Q1 アラームが鳴らない

時計は充電されていますか？

充電量が回復するまで光を当ててください。

🔍 [充電する](#)

上記以外

アラームがセットされていない可能性があります。アラームをセットしてください。

🔍 [アラームをセットする](#)

Q2 時報が鳴らない

時計は充電されていますか？

充電量が回復するまで光を当ててください。

🔍 [充電する](#)

上記以外

時報がセットされていない可能性があります。時報をセットしてください。

🔍 [時報をセットする](#)

充電

Q1 光に当てても操作できない

充電切れになると操作できなくなります。充電量が回復するまで光を当ててください。

🔍 [充電量を確認する](#)

Q2 [R]が点滅している

充電回復モードです。回復するまで(約 15 分)お待ちください。明るい場所に置いて充電すると早く回復します。

- アラーム・時報、ライトの点灯などを短時間に連続使用すると充電量が急激に減少し、充電回復モードに切り替わります。一時的に使用できる機能が制限されますが、回復後は制限が解除されます。

🔍 [充電量を確認する](#)



Q3 [C]が点滅している

充電量が著しく低下しています。すぐに、光に当てて充電してください。

🔍 [充電量を確認する](#)

その他

Q1 「困ったときは」には知りたい情報がない

以下のウェブサイトをご確認ください。

<https://casio.jp/support/wat/>